

入場無料
予約不要

2019年2月9日 (土)

BIO MIMETICS

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

第86回 北海道とバイオミメティクスを考える その10 持続可能な街づくり



人間工学(Ergonomics/Human Factors)は製品、システム、サービスに関わる人々の作業効率と健康・安全・安心とを両立させるための科学と工学です。

この人間工学に基づいて製品、システム、サービスをデザインする

「人間中心設計 (Human-Centred Design)」というアプローチ (考え方) があります。

私たちは人間中心設計の考え方に基づいて

新千歳国際空港や

JR千歳駅構内などの

公共施設案内板や

パンフレットのデザイン

および評価を実践してきました。

このセミナーでは、このような

実践例をご紹介しながら、持続可能なまちづくりに貢献できる

人間工学という学問について

ご説明したいと思います。

利用価値を高める工学

一人間工学とサービス工学

千歳科学技術大学 准教授

小林 大二

主催:北海道大学総合博物館

共催:高分子学会北海道支部

北海道大学 電子科学研究所

特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会

協賛:千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

問合せ先: TEL:011-706-2658 FAX:011-706-4029

E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

生き物から学ぶまちづくり

～バイオミメティクスによる 都市の生活習慣病対策～

筑波大学 教授

谷口 守



生き物と都市は実はよく似ています。

住宅やオフィスは一つ一つの細胞

道路は大動脈(幹線道路)から

毛細血管(路地)に至る

ネットワークといえます。

生き物も都市も活動が続けるための

エネルギーを摂取し、排泄物や

廃棄物が生じます。

また両者とも、「成長し」

「新陳代謝し」「元気であろうとし」

「病気にもなり」「怪我もし」

「治癒し」「老化し」「再生し」

そして「進化」もします。

本講演ではバイオミメティクスの

視点から現代の都市を診断し

都市がどのような生活習慣病に

おかされているかを明らかにします。

その上で都市がどうやって免疫力や再生力を高めて

活力を取り戻していくかについて

生き物に教を乞うことを通じて

いくつかのヒントを提示します。



会場:北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)

札幌市北区北10条西8丁目

時間:午後1時30分から午後3時30分